

平成 28 年第 7 回女川町教育委員会会議録

- | | | |
|----|-------------|---|
| 1 | 招集月日 | 平成 28 年 6 月 21 日 (火) |
| 2 | 招集場所 | 役場仮設庁舎 2 階 第 1 会議室 |
| 3 | 出席委員等 | 1 番 横井 一彦 委員
2 番 平塚 征子 委員
3 番 丸岡 泰 委員
4 番 阿部 喜英 委員
村上 善司 教育長 |
| 4 | 欠席委員 | なし |
| 5 | 説明のため出席したもの | 教育総務課長 小海途 聡
教育総務課 教育政策監 春日川真寛
生涯学習課長 佐藤 毅 |
| 6 | 本委員会の書記 | 教育総務課 課長補佐 笥 由佳子 総務係長 阿部 孝雄 |
| 7 | 開 会 | 午前 11 時 35 分 |
| 8 | 会期の決定 | 会期は本日 1 日限りといたします。 |
| 9 | 前回会議録の承認 | 教育長 初めに、前々回、前回の教育委員会の会議録の承認の件をお諮りいたします。すでに配布されておりますが委員の皆様方何かお気づきの点はありませんか。
無いようですので承認とさせていただきます。 |
| 10 | 会議録署名委員の指名 | 教育長 3 番 丸 岡 泰 委員
4 番 阿 部 喜 英 委員 よろしく願いいたします。 |
| 11 | 報告事項 | 教育長 5 番の報告事項に入ります。
本案件につきましては、秘密会で行いたいと思いますが、よろしいでしょうか。
(「異議なし」の声あり)

(秘密会)

教育長 順不同になりましたが、私からの報告を簡単に済ませさせていただきます。
いつものように「6 月定例教育委員会教育長報告事項」と「別添資料」の 2 部がございます。これに従いましてご報告させてい |

たきます。

はじめに、「綱紀肅正」と大きく書かせていただきました。委員各位ご承知のように、生涯学習課の臨時職員が酒気帯び運転で逮捕、しかも本町では昨年度も起きたばかりで、約6カ月の間に2回もこのような不祥事を起こしてしまったことを、大変申し訳なく思っております。改めてこの場を借りまして、お詫びを申し上げる次第でございます。

記者発表には、私と小海途課長、筧課長補佐が出席いたしました。当たり前でございますが、ここにもあるような大変厳しいお叱りをちょうだいしたところでございます。

とにかく私どもといたしましては、ここに直属の生涯学習課長がおりますが、もう一回気を引き締めて、言葉だけではないのですが、全力を挙げて綱紀肅正の徹底をしてまいりたいと思っております。

なお、生涯学習課におきましては、月曜日の休みの日だったのですが、8時半に、臨時職員、あるいは正規の職員全員に集まっていたいただき、私からお話をさせていただいたところでございます。

いずれにいたしても、このような不祥事が絶対に起きないように一丸となって取り組んでまいりたいと思っております。

委員の皆様をはじめ、町民の皆様等には本当にご迷惑をかせてしまいました。改めてお詫びを申し上げる次第でございます。

そういう中で、ここにもありますように中総体一次大会がございまして、女川中学校の生徒たちは本当に頑張りました。一次大会は5月28日、29日、二次大会の陸上は6月11日、12日、水泳大会は1人だったのですが、6月16日に行われたところでございます。

2ページに入らせていただきますが、一次大会では、女子バスケットボールは、今年も圧倒的な強さを発揮いたしまして、全く他校を問題ともしませんでした。1年生も2人ほど入りまして、他の3年生と変わらないプレーを見せたところでございます。

それから野球部なのですが、これまでは、湊中学校、門脇中学校との合同チームでしたが、1年生3名がレギュラーとして入りまして、大活躍をしました。見事ブロックで優勝しまして、県大会出場を果たしたところでございます。

また、常勝の男子バドミントン部は、今年も優勝しまして県大会出場、さらには個人でも、女子ソフトテニス部、男女バドミ

ントン部、男女柔道部が県大会出場を果たしたところでございます。

毎年同じようなことを書いているのですが、今年もブラスバンドの応援がすばらしかったです。私はたまたま石巻の野球場で他校のブラスバンド部とすれ違ったのですが、こういうことを言ったらご無礼になるかもしれませんが、そのブラスバンド部は「えー、また応援するの」と言って、楽器をダラダラと引っ張っていった姿を見たのですが、女川中学校の生徒を褒めるわけではないのですが、顧問に言われるわけではなく、一人一人が何をしなければならないかということを知っていて、誇りをもってと言ったらオーバーかもしれませんが、応援している姿がとても印象的でした。改めて応援されたブラスバンドの生徒たちにご苦労さまと言ってあげたいです。

それから二次大会では、今は希望者しか参加してなくて、12名の生徒が参加いたしました。

利府町のひとめぼれスタジアムで行われたのですが、頑張りました、3年生の阿部藤吉郎君が3000mで第3位というすばらしい走りをみせました。また2年生の100mでは山本ケイン君が、予選では1番だったのですが、決勝でスタートでつまずきまして4位、さらには女子1年生の1500mで鈴木さんが第4位ということで、県大会へ出場を果たしたところでございます。

水泳大会には、2年生の平塚蓮君が出場しました。

不祥事があったときだったのですが、生徒の皆さんの元気でこちらが元気をいただいたところでございます。改めて生徒の頑張りに心から拍手を送りたいと思っております。

それから「小・中学校移転整備事業」につきましても、先程春日川から説明があったところでございます。何とか今年度中にめどがつくように、これからも頑張っていきたいと思っております。

3ページに入らせていただきます。

小学校、中学校ともいろいろな行事がありました。小学校では教育実習生が来ておまして、6月28日まで教育実習を行っているところでございます。

4ページに入らせていただきます。

中学校は、ただ今ご報告させていただきましたように、中総体一色でございました。その後、第1学期の期末考査などがあり、これから1学期のまとめの段階でございます。

なお、県大会に出場する生徒は、これから最後の追い込みにな

ろうかと思っております。

それから、4ページの第1回女川町総合教育会議は、本日開催したところでございます。先程はいろいろなご意見等を賜り、ありがとうございました。

5ページに入らせていただきます。

石巻地区租税教育推進協議会第34回定期総会が6月9日、石巻税務署で開催されたところでございます。

それから、女川町のつばくろ会総会が6月8日に行われました。これは「別添資料」の6ページにその流れを載せておりますので、あとでご覧になっていただきたいと思えます。

なお、「別添資料」ですが、順番が逆になりましたが、1～2ページが中総体一次大会の結果でございます。3ページが中総体二次大会（陸上競技大会）の結果でございます。

4ページが小・中学校移転整備事業で、これまで復興庁との話し合いは何回行っているか、どのようなことを協議しているのかをメモにしたものでございます。それをここに載せております。

6ページがつばくろ会総会の資料でございます。

続きまして、女川町では、講師の先生方を対象にした講師等研修会と、それから校務等研修会というのは、管理職を目指す先生方の研修会を実施しているところでございます。管理職を目指す先生方の研修会が5月25日、講師の先生方の講習会が6月14日に1回目が行われたところでございます。

その資料を「別添資料」の7～9ページに載せております。

7ページは講師の先生方の研修会で、これを5回行う予定でございます。

管理職を目指す先生方の校務等研修会第1回目の様子を記したものです。今回は、前の義務教育課長で、現在、宮城学院女子大学教授の竹田行正先生をお招きして、ご講話をちょうだいしたところでございます。

また、5ページに戻らせていただきます。

6月の校長・教頭会議は6月27日に行われる予定です。

生涯学習関係については、あとで佐藤課長からご報告があると思いますが、このようにたくさんの行事、その他がございました。

6ページに入らせていただきます。

その他といたしまして、いろいろな訪問、あるいはいろいろな話し合いが行われたところでございます。

この中で、主なところでは、委員の皆様もご承知のように、皇后陛下御歌碑建立実行委員会が立ち上げられまして、現在活動をしているところでございます。事務局が生涯学習課となっておりまして、佐藤課長、平塚参事に力を注いでいただいているところでございます。

それから、村井知事に女川高等学園を訪問していただきました。学校の様子、生徒の様子などを見て、喜んでお帰りになられました。

以下、教科書関係などが実際に動き始めております。現在、教科書展示会が前谷地小学校で行われております。

「おわりに」ですが、梅雨入りと、それから第1学期も早いもので残り1カ月ほどとなりました。いろいろ細かい事故等があるのですが、1学期のまとめをしっかりと行っていきたいと思っているところでございます。

大変簡単ではございますが、ご報告とさせていただきます。

続きまして、教育総務課長、お願いします。

教育総務課長

私からはいつものように「教育総務課報告事項・連絡事項（6月定例会）」でお話をさせていただきたいと思っております。

日程関係につきましては、教育長の説明とかぶった部分については割愛をさせていただきます。

(1)から(5)までは、ご覧のとおりでございます。

(6)6月定例会が、6月16日から20日まで、会期5日間、土日は休会なので、実質3日間行われました。

案件といたしましては、一般質問が10人から23件。うち佐藤議員から「学校跡地利用は」ということで一般質問が出されており、先程春日川からお話をしたような内容等も含めて、教育長から答弁をしております。

補正予算で、スクールソーシャルワーカーの予算、先程いじめの件でお話をさせていただきましたが、杉本さんの分の予算措置を今回させていただきます。スクールソーシャルワーカーの活動を通して、震災後と現在の子どもたちの状況についての質問があったところでございます。

常任委員会の閉会中の所管事務の継続調査の件で、産業教育常任委員会で「家庭教育のありかた」の会議を6月4日に実施させていただきましたが、佐藤委員長からもお話がありましたが、まとめきれなかったもので、今度は執行部、教育総務課と生涯学習課、それを総括する教育長の3人からいろいろな意見を聞いて、まとめたいということで、その日程が6月23日に行われる

ことになりました。

実施予定ということで、6月24日（金）、25日（土）になりますが、塗魂ペインターズが女川に来町されます。100名ぐらいと聞いております。

事故報告ということで、今回いろいろ報告をさせていただきます。

女川中学校の給食に係るご飯配送遅延という問題が6月14日にございました。同じく女川中学校の給食に係るご飯、上は業者の一方的なミスなのですが、2段目はご飯未発注ということで、これは私どものミスでご飯を未発注という事態が起きました。中学校に備え付けております、役場の企画課で置いております非常食で対応をさせていただきました。

昨日でございます。女川小学校6年2組の児童が3時間目と4時間目の間に抜け出してしまったということで、このような報告をするのは私は初めてなのですが、そのような事件がございました。

まず校内を探したのですが、校内では見つけれなかったということで、教務主任の鈴木良幸先生が、遅れて車で学校へ来る途中で、セブンイレブン付近で見かけたということで、12時5分に学校に連れ戻して、なぜ抜けたのかということの事情を昨日聞いておりますが、その詳細についてはまだ来ておりませんので、次回ご報告をさせていただきたいと思っております。

6月15日に6年2組の子どもがキックベースボールの試合中、守備をしていたときに蹴られたボールの捕球に失敗し、右手小指を受傷しております。

3番目、復興庁主催の「新しい東北」作文コンテストで、女川小学校の大江さんが入賞し、6月12日の表彰式に行っております。

もう1点、先程11時半過ぎに東野副町長から緊急に来てくださいということでお話があり、今、資料を配付しております。

東京エレクトロンホール宮城、仙台にあります。そちらの方が今、東野副町長のところにお見えになって、ゴスペルのワークショップを開催したいと。ついては教育委員会に、いろいろな形でご協力をいただけないかということで依頼がございました。具体的には後援という形になってきます。

8月から10月までの間に5回、日曜日になりますが、ゴスペルのワークショップを40名程度で行いたいと。小・中・高、一般の方も対象にはなるのですが、できれば子どもたちに多く参加

教育長
生涯学習課長

していただきたいという依頼がございましたので、参考までに資料提供をさせていただきます。

以上でございます。

続きまして、生涯学習課長、お願いします。

それでは、生涯学習課の6月の実施事業と7月の予定事業を若干説明させていただきます。

6月ですが、主だった部分だけご報告をさせていただきます。毎月第3水曜日に実施しているトレーニングシェイプアップ講習会、6月は15日に開催されたのですが、5月の第3水曜日にやったときも19人の参加があり、今回の6月15日はそれを上回る23人の受講で、この2回の参加者が格段に増えた事業でございます。それを受けて、いろいろと協議を課内でしたが、講師一人の先生では面倒をみきれない人数であるし、ここまで反響が大きくなると、一連のトレーニングマシーンを使うための講習会ではなく、段階を積んだ中でのその人のレベルに合ったような教室、講習会の開催の仕方を、次年度以降は工夫すべきということでまとまりましたので、次年度以降は、段階的な個々のレベルに応じてという要素も入れながらの講習会ということで考えております。

それから16日の図書選定委員会でございますが、これは従来、勤労青少年センターの図書室の図書指導員にある程度の選定をお願いしてやっていたところがありますが、これに、今回、社会教育指導員の菅原先生と私、それに二つの保育所の所長先生方も入れた中で、保育所の図書選定という要素も入れながら、そこは今後、色濃く、多方面からの選定の仕方ということで考えていければと思ひ、16日に1回目の会議をしております。これは継続的にずっとやっていくようになります。

それから今度の日曜日、ヘルシー石巻地区大会の予選会です。これもソフトボールが、去年と比較いたしますと、4チームから6チームに増えましたし、ペタンクは26チームから35チーム、9チーム増えたということで、ペタンクの競技会場も1コート増やした中でやるようになりますが、どうも週末の天気状況が思わしくなく非常に心配しています。

ペタンクは予備日を設けてまた新たにやるのですが、ソフトボールは予備日が会場の都合で設けられなくて、雨天の場合は、開会式のときに公開抽選会をして、うまくても、下手でも、強くても、弱くても、選ばれた2チームが石巻地区大会に行くという方法になっております。そういうことではなくて、きちん

と屋外で競技をしたうえで代表チームが選ばれればと思っております。

以上で、6月は終わります。

7月3日に、夏の町民トレッキングということで栗駒山でのトレッキングを実施いたします。朝6時頃にこちらを出発して、夕方帰ってくる予定ですが、まだはっきりと申込み人数の確定はしておりません。

それから、選挙と重なるのですが、9日、10日に宮城県のレディースソフトボール大会ということで、震災後初めてになるかと思いますが、県大会レベルの大会が女川町で開催される運びとなっております。

6月のところで言い忘れましたが、先週の日曜日に、親子アドベンチャークラブということで、1回目を奥清水を会場にやらせていただきました。1回目はご飯を自分で自炊して食べるというやり方のメニューだったのですが、今後、都合年間4回開催いたしまして、最終的には、万石浦で親子でカヌーに乗るということで、去年と同じような事業内容で考えている事業でございます。

それから7月24日ですが、平塚参事が事務局になってやっているものですが、獅子振り披露会ということで、去年と同じように駅前広場を会場に、レンガ道ではなくて、駅前広場で一堂に会して実施する予定となっております。

最後に、先程教育長からお話のあった皇后陛下御歌碑建立実行委員会の関係でございますが、実行委員会の総会までは終わりましたので、今後は協賛金の集め方に具体的に入ってまいります。

今後の予定からすれば、7月の広報に協賛金のお願いということで掲載をしたうえで、広報とは別にチラシを作って全戸配布ということで、7月の広報時には考えております。

最初は、郵便局へ行っての振替口座への振込みということで基本的な考えとして提示したのですが、実行委員会の総会では、それだけでは不安があるので、足で稼ぐとか、それから募金箱を募るやり方とか、いろいろ手法があるのではないかという意見も出ましたので、それらも加味した中で、今後、基本的には郵便局による口座への振込みなのですが、やむを得ない事情で郵便局に行けない人たちが持ってきたものを集めるというやり方と、あとは町内の官公省に7～8カ所ぐらい募金箱を設置、いわゆる1,000円未満の気持ちをどうするのだというところの

募金箱の設置など、3種類ぐらい考えまして、9月いっぱいまでをめどに協賛金を募りたいと考えております。

具体的に協賛金の目標額は、500万円という目標額を設定した中で、下半期で具体的に設置する場所や規模を考えながら、年度内中の建立を目指しながら、実行委員会で活動していくという方向性で動いておりますので、お知らせをしたいと思います。以上でございます。

教育長 ありがとうございます。

これまでの生涯学習課の地味ですが、継続的な取り組みのおかげで、各種講習会、あるいは大会等活発になってきたということは、何よりもうれしいことだと思っております。担当職員が頑張った成果だと思っております。

なお、御歌碑建立については、事務局として大変だと思いますが、千年に一度あるかないかではないのですが、オーバーな言い方ですが、めったにないことなので、よろしくお願ひしたいと思ひます。

時間が押してまいりましたが、ただ今の報告について何かご質問等ありませんか。

(発言なし)

12 その他

教育長 それでは、6番その他に入らせていただきます。

教育総務課長

先程、総合教育会議で学習塾の話題をださせていただきました。それで丸岡委員、阿部委員から高校生もというお話もですが、町長から、その部分については執行機関で十分協議をするようにという指示がございました。もしよろしければ、そのことについてご協議をしていただきますと、事務局としては大変ありがたいと思っております。

給食の時間は遅らせましたので、十分話をさせていただいて結構でございます。

その辺をもし話をいただけると、実際に町民の方に周知をする時期が早まってきます。この時期を逃してしまうと、また1カ月先になってしまいますので、できればお願ひしたいと思ひます。そのことについて協議していただきたいと思ひます。

教育長 もう少しお時間をもらってよろしいでしょうか。いつも進行のまずさで申し訳なく思っております。

学習塾代支援事業(仮称)の高校生を対象にということが丸岡委員、阿部喜英委員から出されましたが、この件についていかがでしょうか。

横井委員 先程立ち話でお話をしていたのですが、やはり0歳児からということではなく、できれば保育所あたりから高校生ぐらいまでを一つのターゲットにするのが妥当なところではないかというお話を、3人でしておりました。

教育長 先程町長からだされた地方創生の関係の中での大きな視点から言ったときに、担い手づくり、あるいは教育環境の整備というところで、高校段階を抜くのはいかがなものかというご意見等は立ち話ででした。

ただ、私から説明をさせていただいたのは、28年度からスタートする分の予算は、義務教育段階を想定して予算をもらっています。ですから28年度は、例えば義務教育段階で進めるが、考え方としては、多分各委員に異論はないと思うので、29年度から高校生を対象にしたらどうかという話し合いを立ち話ではしたのですが、その辺についてはいかがでしょうか。

丸岡委員 もちろん早ければ早いに越したことはないと思うのですが、それは、事務的な手続きに時間が必要であれば、ずれ込んでも仕方がない、できるだけ早く実現していただきたいということです。

教育長 それから先程でたのは、最初から事務的なことを取り出すのではなくて、本来学習塾代支援事業というのはこういう形でやるのが理想だと。ただ、そこにいろいろな制約が出てきたときに、女川町ではこういう形でやるのだというような話に進めたいということもでたのです。だから、最初の考え方をしっかりと押さえておいて、例えば28年度はこういう理由でこうだが、29年度からスタートしてもやむを得ないのではないかという話が出たのですが、その辺は、課長、事務的な流れとしてどうですか。

教育総務課長 町長が先程言ったように、執行機関としては教育委員会でデコボコがない形で0歳から18歳にするということで決めた方が制度的にもすっきりするということであれば、我々の手法としては、9月、12月に補正予算というタイミングもございますので、当初考えたときに、町長と教育長は義務教育だけでいいのではないかということで、事務局はそれに対していろいろな意見を申したのですが、やはりこの場でそういったことになれば、そういった手法でやることも可能ではございます。

教育長 丸岡委員がいみじくもおっしゃっていただきましたが、もし可能であれば、早ければ早いほどいいということなのですが。

丸岡委員 補正でできるのであれば、ぜひ早くスタートしていただければ。

教育長 当然そうすると、そこで高校生の把握とか事務的なことももち

ろん入ってきますが、それはいずれ、いつでもやらなければいけないことなので、それは期間が短い長いは関係なく、やらなければいけない部分は置いておいて、一番は課長が話してくれた考え方の部分なのです。

それから確認ですが、0歳から18歳でいいのか、丸岡委員からもでしたが、例えば3歳から18歳とした方がいいのか。より実現性があるというか。

丸岡委員 0歳から2歳は、ニーズはそれほどないだろうという感じはしますね。

教育長 簡単に言えば、年少、年中、年長、そして高校生段階までと。大学生はまた別なので。

丸岡委員 あと一つ余計なことですが、大学の受験で浪人している人とか、それは対象とするかどうかという問題がでてくるかと思うのですが。

教育長 そのやり方としては、年齢で切るというか、例えばですが、3歳から18歳まで、あるいは0歳から18歳になると思うのですが、その辺いかがですか。

平塚委員 いろいろなことを考えてしまうと、これもあれもとなりますよね。はっきりと3歳から18歳までというふうにした方が。

丸岡委員 それが一番すっきりしていますよね。

平塚委員 0歳から2歳は必要ないと思いませんか。

教育長 では、対象は年齢で区切って、3歳から18歳までとする。可能であれば補正でスタートするということで、まとめさせていただいてよろしいでしょうか。

(「はい」の声あり)

教育長 課長、その手順で、もし何かあったら。

教育総務課長 議決をいただいた予算の中での執行権は当然教育委員会にあるので、何の変化もない中であれば、教育委員会の方でということをお伝えすればいいのですが、予算の増額ということになってきますと、予算が伴うことになってきますので、議会への説明がでてきます。喫緊では、6月23日に先程言った「家庭教育のありかた」でお話をする機会がありますので、この辺の途中経過のお話をさせていただいて、常任委員は6人しかいないので、あとは全体の集まりが6月にあるかもしれないので、そこでお話をさせていただきます。予算権限が教育委員会にはないので、その辺でお話をして、ご了解をいただければ、今お話したような形で進めさせていただきたいと思います。よろしく願います。

教育長 係長、よろしいでしょうか。一番の財務省的な存在でございますので。

では、今のような形で進めさせていただきたいと思います。

ご協力ありがとうございました。

課長、ほかにその他ございませんか。

教育総務課長 私からはあとは特にございません。

教育長 事務局、特にございませんか。

(発言なし)

教育長 すみませんでした。進行のまずさで、いつも申し訳ありません。

では来月の日程を決めさせていただきたいと思います。

〔7月19日(火)時間は未定ということで調整〕

教育長 19日火曜日ということで組ませていただきます。

本日の教育委員会を終了させていただきます。

ご協力ありがとうございました。

13 閉 会 午後0時33分

では来月の日程を決めさせていただきたいと思います。

〔7月19日(火)時間は未定ということで調整〕

19日火曜日ということで組ませていただきます。

教育総務課課長補佐 笥 由佳子

上記記録の正確なることを認めここに署名する。

平成28年7月19日

会議録署名委員

3番委員 丸 岡 泰

4番委員 阿 部 喜 英

|